

浄土平キャンプ場利用時の新型コロナウイルス感染防止対策

チェックリスト

利用者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせること。
 - 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に、政府方入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（マスクを着用することによって熱中症などのリスクが高まってしまうような場合を除き、マスクを着用すること）。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の利用者、キャンプ場管理者等との距離（2mが目安）を確保すること。
- キャンプ中に大きな声で会話等をしないこと。
- 感染防止のためにキャンプ場管理者が決めたその他の措置を遵守し、キャンプ場管理者の指示に従うこと。
- キャンプ終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、キャンプ場管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

キャンプ場利用中の留意点

- 利用中に唾や痰を吐くことは極力行わないこと。やむを得ない場合は、周囲を確認し飛沫の飛散に注意すること。
- タオル等の共用はしないこと。
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を空けて対面を避け、会話は控えめにし、咳エチケットを徹底すること（マスク会食を励行）。
- 食事時に同じトング等で大皿に取り分けたり、回し飲みしたりしないこと。